

青森県保健医療計画（医師確保計画）素案について【文言の整理】

主な修正内容**（１）共通**

- ・医学生、医学部生 → 医学生（弘前大学の用例に準拠）
- ・医療圏 → 保健医療圏で統一
- ・基幹型臨床研修病院 → 「臨床研修病院」で統一
（医師法施行規則第３条「臨床研修病院の指定」）
- ・専門研修基幹病院 → 「専門研修基幹施設」で統一
（日本専門医機構の用例に準拠）

（２）個別**①【これまでの主な取組の実績】見え消し版 6 頁**

- ・弘前大学医学部医学科への地元出身者枠、地域枠維持の要請
→ 弘前大学の地域枠医師の確保
（地元出身者枠ではなく、地域枠定員及び地域枠として卒業した医師の確保の取組のため）
- ・地域枠入学者への修学資金の貸与
→ 県内の大学の医学生に対する修学資金の貸与
（次の「県外の大学の医学生に対する修学資金の貸与」と合わせたもの）

②【目標】見え消し版 10 頁

- ・2036 年の必要医師数を新たに国から示された数字に置換
- ・医療施設従事医師数について、三師統計との計数の違いを「※」として注記

③【主な施策】見え消し版 11 頁

- ・第 8 次医療計画等に関する検討会等における議論の状況を踏まえ → 削除
（本年度末には上記検討会の議論が終了しているため）

④【寄附講座の設置等】見え消し版 13 頁、14 頁

- ・「地域医療介護総合確保基金を活用し」を挿入（基金活用事業であることを明示）
- ・下北及び八戸の事業説明について「●●のため、▲▲が～をする経費」に統一